

# 常磐高等学校 平成28年度 学校重点目標並びに自己評価表

( 計画段階 ・ 実施段階 )

| 学 校 運 営 計 画                                                                                                                                                                              |                                                                   |                                                                                                  |        | 評価(3月) |          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|----------|
| 学校運営方針                                                                                                                                                                                   | 本校では、知育、徳育、体育の三位一体を基盤として、至誠の心を育み、自由清新な気風で、心豊かな行動力のある社会有為の人材を養成する。 |                                                                                                  |        | B      |          |
| 昨年度の成果と課題                                                                                                                                                                                | 本 年 度 重 点 目 標                                                     | 具 体 的 目 標                                                                                        |        |        |          |
| 生徒問題行動件数の増加や授業満足度指数の減少から、規範意識を高めて未然防止指導の徹底を図ると共に生徒が意欲的に授業へ参加するように授業内容の改善を推進する。その中で生徒会を中心とした学校行事の企画・運営、部活動入部率の向上、情報検定試験上級合格者数の増加がみられた。さらに挨拶や清掃が自主的にできる指導を徹底する。また、幅広い学力層に対応して、個々の進路実現を目指す。 | 自尊心、思いやりの心、礼節・規律を尊び、人間性豊かな生徒を育てる。                                 | 教師の率先垂範による時間厳守・挨拶・身嗜み指導に努め、規範意識を向上させる。<br>生徒を中心に各種学校行事の充実を図り、全生徒の連帯感を高める。                        |        |        |          |
|                                                                                                                                                                                          | 確かな学力を習得させる授業を展開し、さらなる学力の向上を図る。                                   | 学力の三要素を踏まえた授業づくり(アクティブ・ラーニング等)に努める。<br>家庭学習を習慣化させて、予習・授業・復習の学習サイクルを確立させる。                        |        |        |          |
|                                                                                                                                                                                          | 生徒の特性や能力を一層伸ばし、個性に応じた積極的な進路指導を展開する。                               | 面談等を通じて生徒個々の実態把握して、適切な進路指導を実践する。<br>高大接続・大学入試改革、AO・推薦入試等の情報を共有して効果的な進路指導を推進する。                   |        |        |          |
|                                                                                                                                                                                          | 安全で快適な学習環境の整備し、心身ともに健全な生徒を育てる。                                    | 教育活動全体を通して心身の健康を保持するとともに推進を図る。<br>自主的な清掃活動によって清潔な学習環境を保持する。                                      |        |        |          |
|                                                                                                                                                                                          | 具 体 的 目 標                                                         | 具 体 的 方 策                                                                                        | 評価(3月) |        | 次年度の主な課題 |
| 学習指導                                                                                                                                                                                     | 教科指導力の向上                                                          | ・「授業力自己診断シート」に取り組み、より効果的な参観授業や研究授業を実践する。<br>・定期的に生活実態アンケート調査を実施して、「授業満足度」100%を目指す。               | A      | A      | B        |
|                                                                                                                                                                                          | 学習意欲の向上                                                           | ・ICT活用を図ると共に「興味が湧く授業」をテーマに授業研究を推進する。<br>・規律ある授業を基盤にして、予習・授業・復習の「学習サイクル」を確立させる。                   | B      | B      |          |
| 進路指導                                                                                                                                                                                     | 進路学習の充実                                                           | ・多様化する入試制度に対応し、生徒個々に「適切な進路指導」を実践する。<br>・各種資格、検定の上級取得を目指し、「日本情報処理検定協会会長賞」受賞数で全国1位を目指す。            | A      | A      | B        |
|                                                                                                                                                                                          | 希望進路の実現                                                           | ・「難関国立10大学」を含む国公立大学20人、西南大10人、福岡大20人以上合格させる。<br>・各教科・科目の「大学センター試験校内平均点」が全国平均点を上回るようにする。          | B      | C      |          |
| 生徒指導                                                                                                                                                                                     | 規範意識の向上                                                           | ・「時間厳守」「挨拶」「身嗜み」を基調とする基本的な生活習慣を定着させる。<br>・「組織的な登下校指導」を行ない、生徒のモラル・マナーを向上させる。                      | B      | B      | A        |
|                                                                                                                                                                                          | 生徒会活動の活性化                                                         | ・70%以上の「校友会入部率」目指し、強化校友会を中心に県大会、九州大会、全国大会出場を目指す。<br>・生徒会が「挨拶運動」や「清掃活動」を主体的に行ない、学校行事の企画・運営にも取り組む。 | B      | A      |          |
| その他                                                                                                                                                                                      | 人権・同和教育の充実                                                        | ・年2回の「特設授業」の充実を図るとともに、全教育活動を通じた人権教育を一層充実させる。<br>・「教育相談」によるカウンセリングを充実させ、進路変更生徒の減少に努める。            | A      | A      | A        |
|                                                                                                                                                                                          | 広報活動の充実                                                           | ・「学校行事の記録・保存」を徹底して、ホームページを積極的に更新する。<br>・推薦入試受験生100名、一般入試受験生1500名、入学者320名を目指す。                    | A      | B      |          |